



第3次宇都宮市 食料・農業・農村基本計画

担い手いきいき！消費者にっこり！

市民・地域と未来へつなぐ「農業王国うつのみや」

令和6年2月
宇都宮市

は じ め に



「稼げる農業」と

「つながる農業」の実現に向けて

宇都宮市長 佐藤 栄一

本市では、鬼怒川水系を中心とする豊かな水資源や、10,000haを超える肥沃で広大な農地などの恵まれた自然条件を活かし、米を基幹作物とし、園芸、果樹、花き、畜産など、多岐に渡る高品質な農産物が生産されています。

これまで、「農業は、“食”を通じて、市民の“命”を守る重要な産業である。」という認識のもと、「生産力」・「販売力」・「地域力」の向上に取り組んできたところであり、農業は本市経済を支える主要な産業の一つとなっています。

そうした中、農業者の高齢化や減少がますます進行しており、農業・農村の活力の低下が懸念されるだけでなく、大規模な気象災害の発生や不安定な海外情勢を反映した農業資材の高騰など、農業を取り巻く環境は厳しいものとなっており、これらの環境の変化に応じた取組が不可欠になっているところです。

こうしたことから、今回、策定した「第3次宇都宮市食料・農業・農村基本計画」においては、10年後の目指す農業構造を明確化し、産業政策と地域政策の視点から「稼げる農業」の実現と「つながる農業」の実現に向けた2つの戦略プランを掲げ、施策事業の重点化を図るとともに、本市農業・農村の発展を支える「人づくり」・「基盤づくり」・「生産流通体制づくり」・「地域づくり」を軸とした施策事業に着実に取り組むことで、持続可能な「農業王国うつのみや」の確立を目指すものとししました。

また、持続可能な「農業王国うつのみや」の実現に向け、本計画に掲げる施策事業の実効性をより高めていくためには、行政機関だけでなく、農業者や農業団体、観光商工業者、消費者、市民・地域コミュニティの連携が不可欠でありますことから、皆様のより一層の御理解と御協力をお願い申し上げます。

結びに、本計画の策定に当たり、熱心な御審議をいただきました「宇都宮市農業振興対策審議会」及び「宇都宮市地産地消推進会議」の委員の皆様をはじめ、御意見・御協力をいただきました市民の皆様、関係各位に心より感謝申し上げます。

令和6年2月

目 次

序章 計画の策定にあたって	1
1 計画の目的・策定の必要性	1
2 計画期間	1
3 計画の位置づけ	2
第1章 農業を取り巻く環境の変化	3
1 社会経済情勢の動向	3
(1) 農業者の更なる減少・高齢化	3
(2) 地球温暖化への対応	3
(3) 経済のグローバル化の進展	4
(4) SDGs に向けた施策展開	4
2 国・県の農業政策の動向	5
(1) 食料・農業・農村基本法の見直し	5
(2) 農業 DX の推進・スマート農業の進展	5
(3) みどりの食料システム戦略の推進	6
(4) とちぎグリーン農業推進方針の推進	6
(5) 地域計画を軸とした営農体制づくりの推進	7
(6) 畑地化の促進	7
(7) 男女共同参画の推進	8
(8) 就農環境の充実	8
第2章 本市農業の現状と課題	9
1 本市の概況	9
(1) 本市の概要	9
(2) 人口と世帯数	10
2 本市農業に関するデータ	11
(1) 生産力	11
(2) 販売力	26
(3) 地域力	28
3 本市農業の強み・弱み	29
(1) 本市農業の強み	29
(2) 本市農業の弱み	29
4 「第2次宇都宮市食料・農業・農村基本計画（後期）」の目標達成状況	30
5 本市農業・農村の重点課題	33
第3章 本市が目指す農業都市像	34
1 本市農業の役割と今後の方向性	34
(1) 本市農業の役割	34
2 基本理念（あるべき姿）	35
3 目指す農業・農村の姿	36
(1) 生産構造（人・農地）	36
(2) 農用地の品目別の構造	37

(3) 多面的活動組織の構造	37
第4章 「農業王国うつのみや」戦略プラン	39
1 「農業王国うつのみや」戦略プランについて	39
2 成果指標	39
3 プロジェクトの内容と関連施策	40
第5章 基本施策の展開	43
施策の柱1 人づくり	44
施策の柱2 基盤づくり	47
施策の柱3 生産流通体制づくり	50
施策の柱4 地域づくり	53
地産地消に関する取組方針	56
都市農業振興に関する取組方針	58
第6章 計画の推進に向けて	61
資料編	63
1 計画策定の経過	63
2 本市農業の地域別の状況	71
3 農業者アンケート調査(令和4年度実施)	80
4 宇都宮市 21 地区の分析結果(令和5年2月末時点)	85
5 用語の説明	96